

水道料金に福祉減免制度を

日本共産党
野北 知見



町長 福祉施策全体で制度を検討



▲安心して飲めるきれいな水に変える浄水場

問 令和5年度から水道料金の改定が行われる。将来にわたる水道の安定供給という意味合いから、一定の料金引き上げはやむを得ないものと考えられるが、コロナ禍や物価上昇が相次いでいる中、生活が厳しくなっている住民の方に今回の引き上げは大きな影響を与える。昨今の社会情勢を鑑み、社会福祉施策の一環として、低所得世帯に福祉減免制度の検討を行うべきだと考えるが見解は。

答 福祉対策として様々な方策を講じている中で、さらに町単独で福祉減免



無所属
宮宅 良

幸福感の高いスーパーシティを

町長 スーパーシティの動向を注視



▲幸福感が高く笑顔溢れるまちづくりを

問 本町では、協働のまちづくり宣言やSDGsの理念を取り入れた第5次播磨町総合計画などを策定している。協働や共生社会に向けた取り組みとWell-Being（幸福感）は親和性が高い。Society 5.0に向けた取り組みを含め、Well-Beingの9の高いスーパーシティを目指すべきでは。

答 SDGs達成の観点からも、Well-Beingは重要な要素で、デジタル技術の活用がWell-Beingの向上に期待されている。ス

不登校への責任は
町長 次期予算に反映する
問 不登校で、「今」という大切な時間を失うことがないように、しっかりと責任を果たすべきでは。
答 教育委員会、学校、行政が連携した体制づくりを、次の予算編成から反映できるよう準備する。

明るい雰囲気役場を目指して

無所属
大北 良子



町長 挨拶は相手を気遣う心で



▲明るい雰囲気役場を目指して

問 令和4年10月に行われる機構改革の際に、住民と職員もワンチームとなり親しまれる明るい雰囲気役場を目指し、笑顔と挨拶を励行しては。

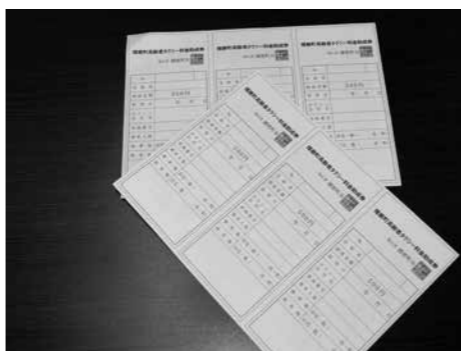
答 職員訓示の場でも、来庁者には自ら先に声をかけ、相手を気遣う心で



日本共産党
松岡 光子

タクシー料金助成の継続を

町長 継続しながら総合的に検討



▲高齢者の外出に役立つタクシー券

問 町は高齢者の移動を支援するための公共交通施策として、令和3年1月から高齢者タクシー料金助成券の交付をコミバス実現までの間というこ

答 周知徹底の工夫や本人確認方法の緩和などで、使用率を上げたい。
問 タクシー券の支給枚数の引き上げや、対象年齢の引き下げの検討は。
答 現時点では検討していない。
問 バス停までの移動や公共交通機関の乗り継ぎが困難な方に、タクシー券は必要である。コミバス実現までではなく、誰一人取り残さない交通施策としてタクシー料金助成は継続すべきでは。
答 単に年齢を下げるのではなく、介護認定者を対象に交付枚数を変えたり、民間の移動手段など、総合的に公共交通を見直し検討する。
住民のニーズを考え、現在の事業を継続しながら、より良い方向性を2、3年後には出していく。
▼その他の質問
家族介護支援特別事業について